

21世紀、三重県の多様な森林づくり

森林は、水源のかん養や二酸化炭素を吸収することによる地球温暖化の防止などの働きをもっています。また、鳥や獣などの野生の生き物が生きる場であるとともに、私たちにとってもやすらぎが得られる大切な財産です。

ところが、林業の経営が難しく担い手が不足していることから、放置される森林が増加しています。このような手入れの行き届かない森林では、森林の持つさまざまな働きが弱くなり、私たちの生活への影響も心配されています。

「森林環境創造事業」を進めています。

このため、三重県では、森林を「環境林」と「生産林」にわけて、その働きにあった森林の管理を行うこととしました。「環境林」では、森林の持ち主から提供された森林を私たちの生活を守る財産としてとらえ、三重県が間伐などの手入れを20年間にわたって行います。

